

野菜づくり八年

就農して八年が経過しました。毎年違う気象条件や作物の生長具合等、毎日が勉強で、何事も経験して覚えていくしかないと自分に言い聞かせて、野菜作りの技術や知識を身に付けています。



就農という道を選択し、大変な事も多々ありますが、家族と過ごせる時間が長くなり、心にゆとりが生まれました。子供達が自分が育てた野菜を喜んで食べてくれるので、うれしく思います。



地区の野菜集出荷予冷施設

少子高齢化が進み、就農後継者が減少しつつありますが、子供たちの未来のためにも、安心・安全を心がけ、頑張つて美味しい野菜作りに励みたいと思います。

岡田 西村 博



がんばっています

十年で感じた事

就農して一〇年が過ぎました。この一〇年で農業は大きく変化したと思います。

当時は携帯電話が普及し始めた頃で、農業については、量は力なりとも言われ、作れば何とかだった時代でもあった気がします。

今は安全・安心とさげられる中、個性のある商品が求められるようになってきました。



そして生産者より消費者の方が強い時代になり、私自身も含め、



トマトは12月上旬まで収穫しています。

農家がふるいにかけられているとつくづく感じます。

また、この一〇年で感じたことは、農業に終点はないという事です。

これから先、厳しい農業環境は続くと思いますが、終りのない終点目指して、何とか生き残っていきたいと思います。

最後に、当島立地区は先代からの果菜の産地として名が知られている訳ですが、近年生産者は減少していくばかりです。

自分は数少ない若手生産者として、地域の文化を後世に残していきたいと思っています。

島立 赤穂 礼夫